

# 東日本大震災に係る支援活動について

大学名 神戸大学

平成24年2月6日現在

事 項	活 動 実 績
医療支援	<p>○救急医療チーム(DMAT)を2チーム派遣(3/12)</p> <p>○東北大学病院の要請を受け、看護師2名、事務職1名を派遣(3/14~3/16)</p> <p>○兵庫県こころのケアチームとして、本院の医師3名、看護師2名、臨床心理士1名が参画(3/18~3/25、3/30~4/6、5/1~5/8、5/29~6/5)</p> <p>○小児科学会を通じて、東北大学からの医師の派遣支援依頼に応じ、医師4名を気仙沼市立病院に派遣(3/29~4/5、4/5~4/12、4/12~4/19、4/19~4/26)</p> <p>○兵庫県薬剤師会からの要請に応じ、薬剤師によるボランティア活動に石巻市に薬剤師1名を派遣(4/7~4/10)</p> <p>○兵庫県からの要請に応じ、宮城県へ医師・看護師・薬剤師等で構成された1チーム5名程度の救護班を7チーム派遣(4/8~4/12、4/12~4/16、4/16~4/20、5/14~5/18、5/18~5/22、5/22~5/26、6/10~6/14)</p> <p>○産科婦人科学会からの派遣支援依頼に応じ、石巻地区へ医師2名を派遣(4/9~4/15)</p> <p>○岩手県からの要請に応じ、岩手県立宮古病院に向けて、医師4名を派遣(11/13~11/19、11/20~11/26)</p> <p>○医薬品を東北大学病院に提供(3/14)。  <a href="http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/t2011_03_earthquake_med.html">http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/t2011_03_earthquake_med.html</a></p> <p>○原子力発電所周辺住民への被ばくスクリーニングの実施に対し、職員を派遣</p>
救援物資等	
緊急物資支援	<p>○保存食とミネラルウォーター約1万5千食を東北大学に提供(3月22日)  <a href="http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/t2011_03_22_03.htm">http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/t2011_03_22_03.htm</a></p> <p>○文部科学省「子どもの学びポータルサイト」を通じ、附属学校の保護者の協力を得て、学用品やパソコン、衛生用品等を被災地の小学校等5校に提供(H23年4月、5月、6月(2回)、11月)  <a href="http://sankei.jp.msn.com/life/news/110428/edc11042812100001-n1.htm">http://sankei.jp.msn.com/life/news/110428/edc11042812100001-n1.htm</a></p> <p>○小中高生用参考書、書籍、文具等、合計14箱を、気仙沼市の(有)家庭教育情報センターに提供(4月7日)  <a href="http://rcuss.wordpress.com/2011/04/07/">http://rcuss.wordpress.com/2011/04/07/</a></p>
義援金	<p>○医学研究科(医学部附属病院含む)で義援金を募り、約850万円を東北大学病院及び東北大学加齢医学研究所に送金。</p> <p>○学内で募金活動を行い、総計1942万円を日本赤十字社等に送金。  <a href="http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/t2011_06_24_02-1.htm">http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/t2011_06_24_02-1.htm</a></p> <p>○H23.8.3開催した東日本大震災に係る公開シンポジウムで、参加者から集まった義援金9,908円をH23.8.5に日本赤十字社に寄附</p> <p>○神戸新聞に¥100,000円寄附(H23.5.11)</p> <p>○青野原俘虜収容所再現コンサートで募金活動を行い、集まった義援金について、日本政府を通じて送金(平成23年10月14日、16日)  <a href="http://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/news/111021_bokin.html">http://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/news/111021_bokin.html</a></p>
学生及び研究者支援	
被災した学生の入学等の弾力的取扱 (入学時期の延期、入学金免除、入学直後の休学、授業開始日の繰り下げ)	<p>①入学手続き期間の延長(4月末)、②履修登録(前期)期間の弾力化(5月9日まで実施)、③個別授業の対応(5月9日まで実施)、④休学期間の扱い等について制度を整備し実施している。⑤2012年度学部入学者選抜試験(一般入試・AO入試・推薦入試)において、震災により被災した入学者の検定料を免除した。</p> <p>○4月渡日をキャンセルした全学協定(タイプ1)留学生7名のうち1名が2011年10月入学許可され、4名が2012年4月入学許可される予定である。</p> <p>○学部生1名が東北地方の親戚被災による救援活動に従事するため、前期の履修登録を5月9日(月)まで延長(5月9日まで実施)</p>
被災大学の学生、教職員への支援 (図書館、インターネット利用等)	<p>○被災地域の大学の学生・教職員の図書館サービスの提供(9月末で終了)  <a href="http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/us2011_03_18_01.htm">http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/us2011_03_18_01.htm</a></p> <p>○被災者支援のための復旧復興関連文献の送信提供サービスの開始(5月末で終了)  <a href="http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/us2011_04_07_01.htm">http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/us2011_04_07_01.htm</a></p> <p>○被災された大学関係者の方々へのアカウント発行  <a href="http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/support/index.html">http://www.istc.kobe-u.ac.jp/contents/support/index.html</a></p>

事 項	活 動 実 績
<p>学生による被災地でのボランティア活動</p>	<p>○ボランティア活動を届出制とすると共に、本震災に伴う授業の公欠制度を導入 ○本学の学生ボランティアバスによる活動 ・学生23名参加(4/30-5/8) ・学生18名参加(4/28-5/5) ・学生16名参加(6/28-7/5) ・学生20名参加(8/16-8/23) ・学生10名参加(8/31-9/6) ・学生20名参加(9/8-9/15) ・学生48名参加(11/22-11/29) ・3月末までの活動予定(2012/2/21-2/28, 2012/3月中) ○その他、大学以外の団体による活動 ・学生延べ39名参加 ○ボランティア活動による休学学生 3名(3名共に10月から復学) ○チャリティコンサート活動「はこべ・プロジェクト」(4/29)学生22名参加</p>
<p>被災学生・大学院生の受入れ、講義の履修、聴講</p>	<p>○特例措置により、授業料等不徴収による科目等履修生、研究生として受入る制度を整備 ○特例措置により、実習料不徴収による実習生の受入れ制度を整備し、関東より1名受入れた。(寮も斡旋)</p>
<p>被災大学院生への研究支援</p>	<p>○学生身分以外による短期間(1ヶ月未満)の受入状況 ・東北大学の学生を2名(学部1名、大学院生1名)を特別研究学生に準じた取り扱いにて受け入れ研究支援した。(4月中に終了) ・東北大学大学院博士後期課程の留学生を研究員として受け入れ、研究場所としては共同研究室を提供しゼミなどにも参加した。(4月中に終了)</p>
<p>研究者への支援 (研究スペースの提供、機器の共用等)</p>	<p>○被災された研究者の方々への支援 <a href="http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/us2011_04_12_01.htm">http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/us2011_04_12_01.htm</a> ○平成23年3月に東北大学又は東北学院大学の法科大学院を修了した者に対し、施設利用ができるように体制を整備した。 ○放射線関連研究者の支援(測定器貸し出し、被ばく管理、汚染管理、助言、放射線施設の提供) ○農学研究科による一般公開講座で使用される牛肉の放射能測定支援 ○経済経営研究所HP「お知らせ欄」掲載中:<a href="http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/">http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/</a> ○被災された研究者・研究機関等(ライフサイエンス関連分野等)に対し、神戸バイオテクノロジー研究・人材育成センターの研究スペースを提供する用意をしたが、希望者はなかった。 <a href="http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2011/03/20110325041701.html">http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2011/03/20110325041701.html</a></p>
<p>受入れた学生及び研究者用の宿泊施設の確保</p>	<p>○特例措置により、寄宿料不徴収とした学生寮入寮制度を整備 ○留学生寮(インターナショナル・レジデンス)1室を被災者(研究員)に提供(4月末で退去)</p>
<p>就職支援</p>	
<p>被災した学生に自大学の就職支援等を行うことができるキャリアセンター等の利用</p>	<p>○ 本学学生と同様、就職活動及びキャリアセンター活用を支援する。(利用者なし)</p>
<p>被災した学生に対し、就職活動中の短期宿泊に供することが可能な宿泊施設の提供</p>	<p>○該当なし</p>
<p>被災大学への教職員の派遣</p>	<p>○東北大学からの「施設災害復旧事業に係る技術支援者の派遣依頼」に対し、1班4名からなる施設系技術職員で構成されたチームを5班編制し4/11から5月下旬まで1班10日間毎派遣した。 <a href="http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/sf2011_03_28_01.htm">http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/sf2011_03_28_01.htm</a> ○教職員研修指導のため教員2名を東北大学に派遣(4/19-20) ○シンポジウム「震災とジェンダー」講演のため教員1名を岩手大学に派遣(8/28)</p>
<p>被災者への支援(住居提供等)</p>	<p>○職員宿舎29室、宿泊施設7室を被災者用に用意したが、入居希望者はなかった。 ○地域連携推進室の公募事業「平成23年度学生地域アクションプラン」にて支援している学生団体「ユース六條」が、兵庫県篠山市(活動拠点)にて収穫した米や黒大豆を被災地に届けた。 ○東日本大震災に関する点字による情報提供を行っている。<a href="http://suzume.med.kobe-u.ac.jp/eq/">http://suzume.med.kobe-u.ac.jp/eq/</a> ○医学部附属病院のHPでも公開している。<a href="http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/topic/news/earthquake.html">http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/topic/news/earthquake.html</a></p>
<p>その他</p>	<p>○福島第一原発の冷却活動に教職員を派遣 <a href="http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/sf2011_03_28_01.htm">http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/sf2011_03_28_01.htm</a> ○震災の影響により一時帰国した留学生の履修登録期間の延長 <a href="http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/sd2011_04_12_02.htm">http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/menu/sd2011_04_12_02.htm</a> ○震災の影響で授業料の納付が困難になった学生について、授業料免除申請の受付を延長した(4月8日まで)。 ○神戸市消防局による福島第一原発冷却活動の後方支援 ○一般からの放射線に関する問い合わせ、企業からの問い合わせに対応 ○管理下でない放射性同位元素発見時の対応協力 ○内海地域環境教育研究センター(マリンサイト)で、被災地の大学の研究室が継代維持していた微細藻の株を一時的に預かった(3月～9月) ○被災地の小中高等学校へ顕微鏡35台を寄贈</p>

※現時点において、各大学で把握している活動について記入ください。

※実際の支援実績がない場合でも、支援体制の整備を行った場合は、その内容を記入ください。

(例:職員住宅〇〇室を被災者用に用意したが、入居希望者はなかった。)